

テンサーダブルウォール

共生機構株式会社

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-1 (TEL.03-3354-2554)
営業所：札幌、山形、新潟、長野、三島、大阪、東瀬戸内、広島、福岡

キーワード：補強土、間詰擁壁、道路擁壁、ジオテキスタイル、二重壁

1. 概要

ジオテキスタイル補強土擁壁である「テンサーダブルウォール」は、緑化可能な鋼製壁面材に補強材としてジオテキスタイルを用いた構造である。補強材の定着に土の摩擦抵抗を期待した背面開放型だけでなく、地山に沿わせた補強材と水平補強材を物理的に連結する背面閉合型とすることも可能であり、間詰部など定着長が不足するような狭い場所にも設置可能となっている。また、転落防止柵の取り付け機能が内蔵されている。

2. 特徴

(1) 二重壁構造

「テンサーダブルウォール」は、その名が示すように、ジオテキスタイル補強材を使用した二重壁構造が最大の特色であり、土の摩擦抵抗ではなく補強材同士が直接連結されているため、補強材の定着長に支配された断面ではなく、重力式擁壁と同等まで狭くすることが出来る。(図-1)

その結果、間詰部や道路拡幅など、掘削が制限され十分な壁体幅を確保できないようなところにも、設置することが可能となる。使用例として、付替道路、工所用進入路、間詰擁壁など。

(2) コスト縮減

急峻な地形では、下半分を二重壁式補強土壁、上半分を内部拘束のジオテキ補強土壁とした複合擁壁とすることで、掘削ミニマムのニーズに応えられるだけでなく、コストミニマムを実現できる。

(3) 環境・景観

壁面のバリエーションに、緑化タイプ、防草タイプ、間伐材タイプなど様々な種類があり、景観に配慮した構造とすることが可能である(写真-3)。

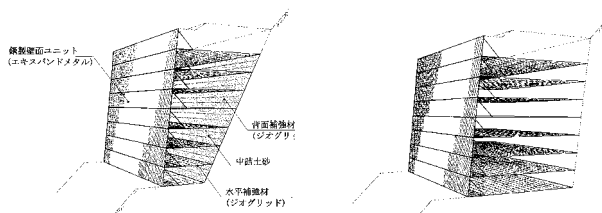


図-1 背面閉合型と背面開放型

(4) 施工中の安全

鋼製壁面材に転落防止柵取り付け機能が内蔵されているため、施工中の安全対策はもとより、土構造物で重要な壁面際の転圧も安全かつ入念に行うことができる。



写真-1 間詰擁壁



写真-2 道路擁壁



写真-3 壁面のバリエーション(左：緑化、右：間伐材)

3. 導入実績・特許等

特許：第2655131号
実用新案：第3111278号
Netis：CB-990067-V

【問合せ先】

共生機構株式会社 技術サービス室(TEL. 03-3354-2554)